

第6回山ノ内町議会報告会実施結果報告書(東部上)

日時	平成25年1月24日(木) 午後7時～9時まで
場所	杓野区 和合会館 (住民参加者数:21人) 議員 11人 事務局 1人
地元協力団体	杓野区・杓野組・渋湯組・横湯組
議員役割分担表	<p>総括責任者 山本 一二三 司会進行 小根澤 弘 常任委員会報告者</p> <p>総務常任委員会 高田 佳久 社会文教常任委員会 湯本 市蔵 観光経済常任委員会 渡辺 正男 広報常任委員会 田中 篤 議会活性化委員会 児玉 信治</p> <p>記録者 高山 祐一 出席議員 小淵 茂昭・湯本 市蔵・山本 一二三・渡辺 正男・児玉 信治 高田 佳久・高山 祐一・田中 篤・西 宗亮・望月 貞明・小根澤 弘 (事務局一名)</p>
次第(担当者)	<p>1. 開 会 司会者 2. あいさつ</p> <p>主催者 小淵 茂昭 議長 共催団体 児玉 重一 杓野区長</p> <p>3. 議員紹介 司会者 4. 報告事項</p> <p>(1) 議会常任委員会等報告 ①総務常任委員会 ②社会文教常任委員会 ③観光経済常任委員会 ④広報常任委員会 ⑤議会活性化研究会</p> <p>(2) 懇談事項</p> <p>5. 懇談事項 (1) 少子高齢化とどう向き合う</p> <p>6. その他 7. 閉 会 司会者</p>
報告事項の質疑	<p>質問:小学校の統廃合が進んでいるようだが、跡地利用は? 回答:今の段階ではまだそこまでいってない、教育委員会がこれから順次進めていく。</p> <p>質問:杓野地区の有害鳥獣対策は夏場はいいが冬場が困る。高森町では多額の金を懸けて電気柵を作っているがどうか? 観光面でもお客さんにけがをさせてはいけないと思うが? 回答:有害鳥獣対策については、当町として取り組みが遅かった。当初やりたがらなかった地区が、最近は考えが変わってきて、電気柵を設置しようとしている。電気柵を設置した地区と未実施地区の差が出てきている、やればやっただけの効果があるようです。町内全体で設置を進めるべきだ。</p> <p>質問:国保税・介護保険料が高い、健康づくりの推進と、健康診断をもっとやるべきだがどうか? 回答:国保は自営業が多いので加入者が多くなっている、低・中所得者層に対する一般財源からの繰り入れを要望していく。</p> <p>回答:介護保険料については、必要な人が十分な介護を受けようとする、どうしても高くなる、予防介護に力を入れるべきだ。</p> <p>質問:議員定数が2名削減になるそうだが、歳費はいくら削減になるのか? 回答:約600万円です。</p> <p>質問:滞納整理という言葉を最近聞かないが、どうなっているのか?</p>

	<p>回答:滞納額は7.8億円、町として難しい案件は、県滞納整理機構へ移管して対応している。23年度実績は1.5億円のうち200万円回収、不能欠損金が7千万円計上されています。</p>
メインテーマ	<p>少子高齢化とどう向き合う</p>
懇談会意見	<p>質問:旧中野平中学校跡地にフランセーズ悠が開所したが誰でも入所できるのか? 回答:中野・山ノ内を優先的に入所できるようにお願いしてあるが、現在200人待ちの状態、お金も結構かかるようです。山ノ内町にある「いで湯の里」は月に3~5万円かかるようだが、終の棲家になっているので、なかなか空きが出ない。長期入所者が98%、短期入所者もいるのでほぼ満室の状況です。 入所判定委員会が優先順位を考えて入所順番を決めている。 町の財政的には「行政の限界」がある、民間施設に頼らざるを得ないのが現状 小学校の統廃合で空いた校舎を利活用するのも考えるべきかと思う。</p> <p>質問:健康診断の認定は、現在町外の医療機関ではカウントされない、工夫して町内医療機関での検診でなくてもカウントできるようにしたらどうか? 回答:検討課題とさせていただきます。</p> <p>質問:角間川上流の崖くずれ地籍は何とか早期に改修出来ないか? 場合によっては星川・穂波温泉まで洪水になる。 回答:建設事務所も危険箇所と認識はしているので、もう1度聞いて繋いでみる。</p> <p>質問:和合保育園の跡利用はどうなっているのか? 回答:利用する団体があればいいが、今のところないのが現状です。 役場には副町長を中心とした「公共施設検討委員会」で方針が決まってない。 沓野地域で何か要望があれば検討したいところです。</p>